

発災とともに駆けつけ、  
協働で支援し、  
被災者に寄り添う

～災害ボランティア・NPOの先達紹介～

各地で災害が発災した際、いち早く被災地に駆けつけ、災害ボランティアセンターや社協と連携・協働を進め、被災者への支援を行うボランティア・NPOの活動を紹介します。

第1回

## 一般社団法人 OPEN JAPAN OPEN JAPAN

オープンジャパン

オープンジャパン で検索

本部 宮城県石巻市

東日本大震災発生時に被災地に集結した個人・団体により結成された「ボランティア支援ベース絆」を前身とした災害支援のネットワーク。重機を使った瓦礫や土砂の撤去作業から、生活支援まで各自の得意技を活かし、全国で機動力のある支援を展開。

### 一般のボランティアでは対応が難しい活動に取り組む

OPEN JAPANは宮城県石巻を拠点とする災害支援活動を行うNPOで、東日本大震災の発生直後に石巻で結成されました。パワーシャベルなどの建設機械やチェーンソーなどの動力工具などを駆使した瓦礫や土砂の撤去、建築等に関する専門的な知識と技術を活かした家屋の保全・再生（屋根の補修や床下からの土砂出し～消毒～カビの防止）など、一般のボランティアでは対応が難しい活動を中心的な活動として行っています。

### 被災者に寄り添った生活再建

もう一つの大きな特徴は、活動の目的として“被災者に寄り添った生活再建”を掲げていることです。支援活動を展開するなかで、被災した住民の声を聴き、被災者に寄り添いながら、被災者が自ら生活再建に向かう力を生み出す（エンパワメントする）ことを大切にしています。

例えば、家屋が大きな被害を受け、避難所で生活す

る人に、家屋の再建に利用できるような官民の制度情報や方法を提供します。また、被災地域のコミュニティの力を取り戻すために、仮設住宅での相談活動、暮らし方講座などを開催したり、子どもも大人も楽しめるお祭りなどのイベントをサポートしたりしながら、コミュニティづくりを行うような支援活動にも取り組んでいます。

こうした寄り添い型の活動を大切にしているため、長期にわたり支援活動を行うこともあります。東日本大震災以降、拠点である石巻で被災者支援の活動を継続していることはもとより、その後も熊本地震、西日本豪雨、台風15・19号、令和2年7月豪雨などの複数の被災地において、現在も支援活動を継続しています。また、直接的な支援だけでなく、地域で支え合うための視点を大切にし、人材養成を目的とした講座や講習等にも取り組んでいます。

最近では、被災地で活動するさまざまなNPOの間の連携・調整、災害VC（社協）、行政、建設系業界団体等との間の協働活動の提案や調整などにも力を入れています。

### 最近の主な被災地支援活動

関東・東北豪雨（2015年9月：鬼怒川決壊）、熊本地震（2016年4月）、九州北部豪雨（2017年7月）、西日本豪雨（2018年7月）、北海道胆振東部地震（2018年9月）、佐賀豪雨（2019年8月）、台風15号・19号台風（2019年9月・10月：千曲川決壊等）、令和2年7月豪雨（2020年7月：球磨川決壊）、熱海伊豆山土石流災害（2021年7月）など



## インフォメーション

新刊ご案内

福祉教育を進める皆さん 必携の書！

### 福祉教育推進員養成研修テキスト 福祉教育の理論と実践方法 ～共に生きる力を育むために～

原田 正樹 著 / 全社協 全国ボランティア・市民活動振興センター 発行  
2022年3月刊 / B5判・102頁 定価700円(税込・送料別)

本書は、全社協 全国ボランティア・市民活動振興センターが開催する「全国福祉教育推進員研修」テキストとして作成したものです。原田正樹さん（日本福祉大学教授 / 全社協 全国福祉教育推進委員会委員長）による講義内容を、豊富な資料とともに整理しています。福祉教育を体系的に理解し、現在の最新動向も身につけながら地域での取り組みにつなげることができる実践的内容です。ぜひ活用ください。



#### 本書の内容

- ・はじめに
- ・序章 福祉教育推進員とは
- ・第1講 福祉教育原論
- ・第2講 福祉教育プログラム
- ・第3講 福祉教育ネットワーク
- ・参考資料

#### お問い合わせ・注文先

社会福祉法人 全国社会福祉協議会  
全国ボランティア・市民活動振興センター  
電話 03-3581-4656 FAX 03-3581-7858  
Eメール vc00000@shakyo.or.jp

購入は、[ボランティア・市民活動推進情報ページ](#) で検索  
(ホームページに掲載の申込書に記入の上、お申込みください)